

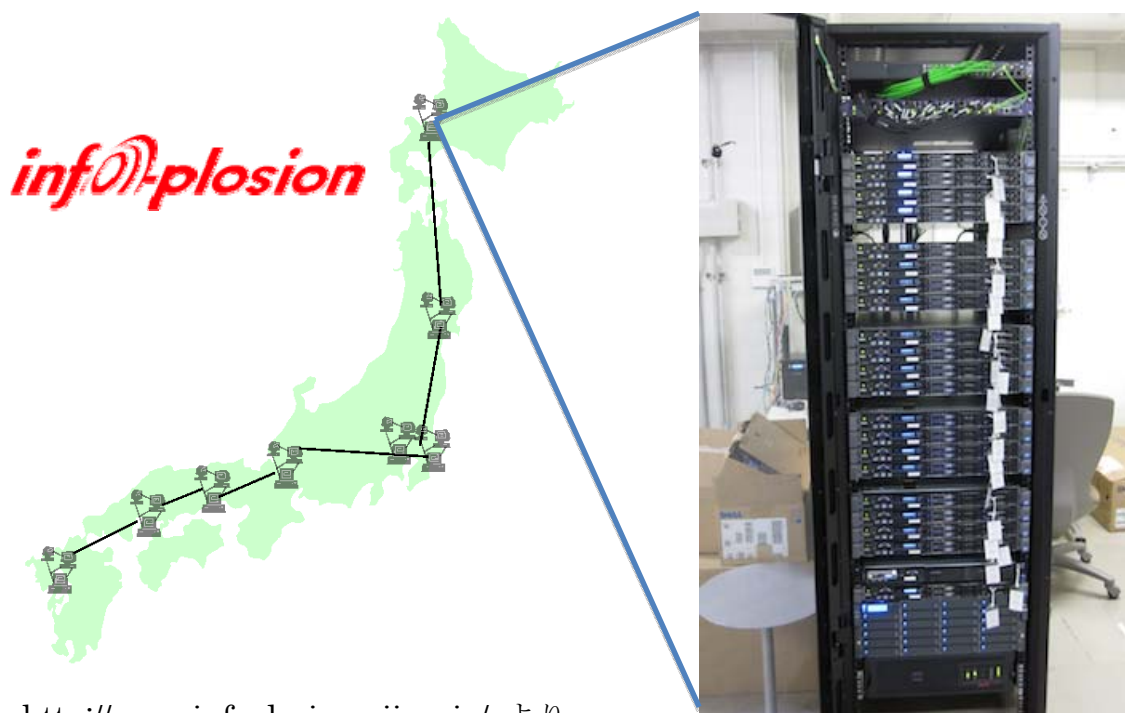
InTrigger 北大拠点の整備について

発表者 棟朝雅晴（北海道大学情報基盤センター大規模計算システム研究部門）

InTrigger は、「情報爆発時代に向けた新しい IT 基盤技術の研究」（平成 17 年度～平成 22 年度文部科学省研究費補助金「特定領域研究」）において構築が進められている、多地点にまたがる分散計算環境であり、先端的なテストベッドを研究者へ提供することを目的としている。

北海道大学情報基盤センターにおいては、その支援班として、1 ラック、20 ノードから構成されるクラスタシステムを構築し、本プロジェクトに参加する研究者へサービスの提供を行っているところである。

本拠点の特徴としては、マルチコア、マルチ CPU による高性能演算ノードを 10GbE ベースの高速ネットワークで相互結合したクラスタシステムであること、さらに 10GbE で SINET ノードへ直結することで、他の拠点に対しても広帯域幅の接続を実現している点があげられる。



<http://www.infoplosion.nii.ac.jp/> より